

関連企画 ①

「MAP-オーストラリア・奈良・愛知・宮城」報告会

2017年2月11日(土) 18:00~

奈良県文化会館展示室

2015年の「鹿の劇場」に出演した、オーストラリアを拠点に活動する、障害のある人たちの芸術活動を支えるアートNPO「クロスロードアーツ」。その後も日本各地で交流を続けています。その最新の様子をお伝えします。出演：佐久間新(舞踊家)ほかゲスト

関連企画 ②

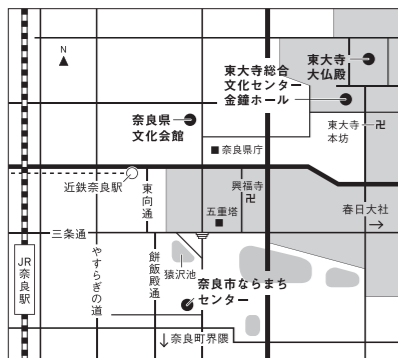
「さわって楽しむ体感展示」

2017年2月4日(土) ~ 12日(日) 9:00 ~ 18:00

※6日(月)は休館日。 ※最終日12日(日)は16:00まで

奈良県文化会館展示室E

“見る”鑑賞ではなく、“さわる”鑑賞をしてみませんか。カタチをさわって、奈良をさわって。触覚での鑑賞で新たな発見ができるかもしれません。視覚障害のある人もきっと楽しめます。



奈良県文化会館
近鉄奈良駅東改札口より1番出口を出てそのまま東へ徒歩約5分/JR奈良駅より奈良交通バス(市内循環外回り)に乗車約10分「県庁前」バス停下車、西へ徒歩約2分
東大寺総合文化センター
金鐘ホール
JR奈良駅、近鉄奈良駅より奈良交通バス(市内循環外回り)「大仏殿春日大社前」バス停下車徒歩約5分/近鉄奈良駅より徒歩約20分/奈良県文化会館より東へ徒歩約10分
奈良市ならまちセンター
近鉄奈良駅より徒歩約10分/JR奈良駅より徒歩約15分

詳しくは「国文祭・障文祭なら2017」公式ホームページをご覧ください。

http://nara-kokushoubun.jp/



【申込方法】

オンステージプロジェクト鹿の劇場「BUNNA」(定員100名 先着順)

「障害×アート」芸術の新しい可能性を探るシンポジウム(定員320名 先着順)

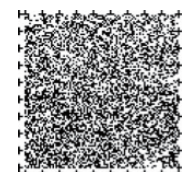
○ホームページ(http://nara-kokushoubun.jp/)から申込み。○タイトルに「鹿の劇場 観覧希望」または「障害×アート シンポジウム 観覧希望」とご記入の上、必要事項(観覧希望代表者の氏名、年齢、電話番号、希望人数)を明記し、下記のお問い合わせ先までハガキ・FAXで申込み。
※入場券の発行はいたしません。定員に達し、お断りする場合がございます。



プロジェクトをともに進めていただける協力者を広く募集しています。作品展示に関わる作業やワークショップサポート、会期中の運営など、ご興味のある部分で関わっていただけます。ぜひご協力ください。
※詳細は事務局までお問合せください。

お問合せ
/申込先

HAPPY SPOT NARA 事務局(担当:たけうち・岡部)
〒630-8044 奈良市六条西3-25-4
一般財団法人たんぼの家内
Tel.0742-43-7055 Fax.0742-49-5501
E-mail happyspot@popo.or.jp URL http://popo.or.jp



奈良県では、障害のある人もない人も、だれもが暮らしやすい地域社会をめざして、まほろば「あいサポート運動」に取り組んでいます。
http://www.pref.nara.jp/33579.htm



「第32回国民文化祭・なら2017」
「第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会」
プレイベント

奈良県障害者芸術祭
HAPPY SPOT NARA
2016-2017

HAPPY SPOT NARA

会期

2017.2.4 (sat) ~ 2.12 (sun)

会場

奈良県文化会館展示室
東大寺
東大寺総合文化センター 金鐘ホール
奈良市ならまちセンター
近鉄奈良駅周辺店舗ほか

HAPPY SPOT for HAPPY LIFE

奈良のアートをもっと身近に! 奈良の福祉をもっとクリエイティブに! という合言葉ではじまった奈良県障害者芸術祭も6回目となりました。わたしたちは、自分で表現することや、他人の表現と出会うことによって、当たり前だと思っていた日常を新しい切り口で捉え直し、生き方の幅を広げることができます。今回もアートそのものを問い直し、新しいアートの可能性を提案する、そんな作品が待っています。ぜひご来場ください!

主催:第17回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、奈良県 協力:東大寺、社会福祉法人こま福祉会、社会福祉法人ふるほの、社会福祉法人大和会、社会福祉法人綜合施設美吉野園、社会福祉法人わたぼうしの会、NPO法人ならゆうし、NPOならそら、ヒューマンヘリテージ株式会社、NPO法人エイブル・アート・ジャパン、les contes、UMA/design farm、MARQMEW、ナテック株式会社、株式会社GROUND ZERO

1 企画展 「Play art!アートとゲーム」

「ゲーム」がテーマの展覧会。自分のルールや世界観で表現をしている人や、参加型の制作をしている人たちの作品を県内外から集めました。ワークショップで制作した、障害のある人もない人も楽しめるオリジナルゲームもお楽しみください。



木造校舎現代美術館 WSMAでの展示風景

2 報告展 「オープンアトリエ・ドキュメント」

身体表現から地域の特産品を使ったものづくりまで、今年度も奈良県各地で多彩なアートワークショップを開催しました。その成果を作品と映像でご紹介します。体験コーナーもご用意していますので、お気軽にご参加ください。



ワークショップ「あるがままそのまま」

3 映像上映 「東アジア障害者アートドキュメント」

日本、中国、韓国の精神障害のある人たちの創作の様子を、ドキュメント映像で上映します。それぞれの地域の文化の違いと、その奥にある表現への欲求、作らずにはいられない人間の普遍性を共有します。



南京天成芸術センターでの創作風景

4 オンステージプロジェクト 鹿の劇場「BUNNA」

2017年2月5日(日) 14:40開場、15:00開演
奈良市ならまちセンター 市民ホール(要申込・裏面参照)

福岡から、障害のある人、ない人、高齢者などで作るユニークな演劇プロジェクトがやってきます。弱肉強食による生命の循環を多様な人たちが演じるにより、「ともに生きる世界」のあり方を考えます。
出演:特定非営利活動法人ニコちゃんの会 すっごい演劇アートプロジェクト
演出:倉品淳子



公演風景

コミュニティプロジェクト

5 「ビッグ幡in東大寺」

2017年2月4日(土)～12日(日) 8:00～16:30
東大寺大仏殿前(入堂は16:00まで)

日本の自然を象徴する「花鳥風月」をテーマに、奈良県、東日本大震災及び熊本地震の被災地の障害のある人たちの作品が集まりました。会期中、東大寺大仏殿前にそれぞれの思いのこもった幡が大きくはためきます。

入堂料 大人・高校生・中学生:500円/小学生:300円 障害者減免あり



昨年度の実施風景

6 「プライベート美術館」

2017年1月27日(金)～2月12日(日)
※展示時間は展示店舗の営業時間に準じます。

きたまち、ならまち界隈、近鉄奈良駅周辺商店街の店舗ほか

アートを日常のなかで楽しむプロジェクトです。公募によって集まった奈良県内の障害のある人の作品約180点を、店舗や町家で展示します。「この作品をぜひうちのお店に!」と各店舗のオーナー、スタッフが選んだ作品たち。まち歩きとともに楽しみください!※まちあるきマップを奈良県文化会館で配布します。



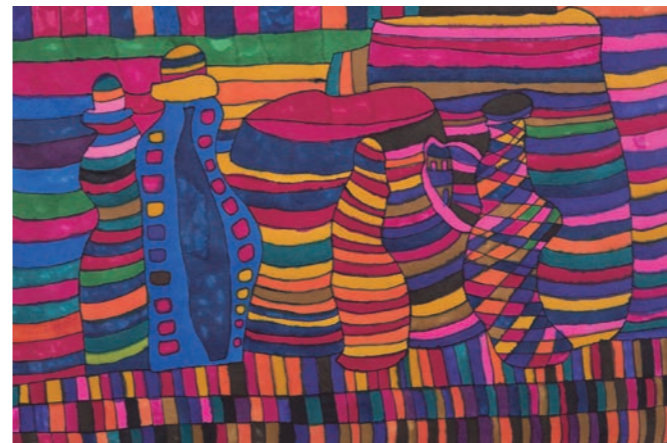
昨年度の実施風景

シンポジウム

7 「障害×アート」 芸術の新しい可能性を探るシンポジウム

2017年2月4日(土) 13:00開場、13:30開演
東大寺総合文化センター 金鐘ホール(要申込・裏面参照)
出演:住友文彦氏(アーツ前橋館長)ほか

障害のある人の表現を「いまを生きる同時代の表現」として捉え、社会のなかでどう価値付けていくかを議論するシンポジウムです。中国、韓国の障害のある人の創作活動の現在も報告します。



品方(Pinfang)「心の風景」(中国)

プレワークショップ

「みんなで遊ぶ 新しいゲームを作ろう!」

1月11日(水) 17:00～19:00 / 1月22日(日) 13:00～16:00
ぶろぼの福祉ビル5F(奈良市大宮町3丁目5-41)

障害のある人とない人が集まって新しいゲームを作ります。みんなで一緒に遊びながら、ルールや道具も考えます。完成したゲームは、企画展示「Play art!」アートとゲーム会場でお披露目します。



ワークショップ風景